

第 22 回 永山子ども基金チャリティトーク&コンサート

ペルーの 働く子どもたちへ

N から子どもたちへ
故 大谷恭子 前代表を偲んで

2025 年
7 月 26 日 (土)
開場 12:30
開演 13:30

コンサート

『SONGS FROM THE OTHER SIDE — 彼方からの記憶 2025』

歌と演奏 こぐれ みわぞう (歌、チンドン太鼓)
大熊 ワタル (クラリネット 他)
近藤 達郎 (ピアノ)

座談会

『大谷恭子弁護士を偲ぶ』

田鎖 麻衣子 (東京経済大学現代法学部教授)
諸橋 仁智 (弁護士)
義井 豊 (写真家)

司会 太田昌国 (人権問題研究家)

朗読

『パチャママしてる?』(スペイン語バージョン)

朗読 水野 慶子
演奏 宇佐 照代
原作 井江 春代

映画

『ペルーの働く子どもたち物語 Vol.16』

制作 NGO クシ・フンク協会

入場料：前売り 2,500 円／当日 3,000 円
中学生～ 18 歳 1,500 円

チケット申し込み：nagayamacf@gmail.com

会 場：北とぴあ・ドームホール
東京都北区王子 1 丁目 11-1

画：井江春代「ビバ インカ」

主催：永山子ども基金

共催：公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本／神奈川シティユニオン／特定非営利活動法人 Crimeinfo／認定 NPO 法人国際子ども権利センター／
一般社団法人若草プロジェクト／NGO クシ・フンク協会／パチャママ基金

協賛：NGO ピースポート／FOOD STORE しろういあお



コンサート [SONGS FROM THE OTHER SIDE — 彼方からの記憶 2025]

こぐれ みわぞう (Miwazo Kogure)

歌手、チンドン太鼓奏者、箏曲家。3歳から箏曲を始め11歳で師範名取。1997年、ソウル・フラワー・モノノケ・サミットのチンドン太鼓奏者としてデビュー。その後、シカラムータ、ジントラムータを拠点に、ハイブリッドなロックチンドンの旗手として国内外で活躍。華麗かつタイトなグルーブには定評がある。また、プレヒトソングや各国のプロテストソング、イディッシュ歌謡等多言語で歌う稀有な歌手としても話題を呼ぶ。



大熊 ワタル (Wataru Okuma)

80年代、東京の地下音楽シーンで活動開始。鍵盤、ギター等に加え、チンドン屋に入門、路上でクラリネット修行。90年代、クラリネット奏者としてシカラムータ始動。超ジャンルの音楽性は国内外で話題となる。近年は生音主体のジントラムータでも公演多数。3・11以前から街頭でも積極的に演奏。映画(「山谷——やられたらやりかえせ」ほか)や演劇(風の旅団、野戦之月ほか多数)など領域を超え出没。



近藤 達郎 (Tatsuo Kondo)

70年代からさまざまなバンドでキーボード奏者として活動する一方、演劇・映画・CMなどのための作／編曲も手がける。最近の参加作品に、自らのバンド「近藤達郎K3」の『沈黙の向こう』、「大友良英スペシャルビッグバンド」の『Stone Stone Stone』、『くじら』の『さざげもの』など。今年1月の渡辺えり古希記念・2作品連続演劇公演では両作品で作編曲・生演奏を担当。ジャンルを問わない表現者との即興パフォーマンスにも注力している。

座談会 「大谷恭子弁護士を偲ぶ」

田鎖 麻衣子 (たぐさり まいこ)



東京大学在学中に、刑務所での処遇や死刑制度に関心を持つ。卒業後、2年間の司法修習を経て弁護士登録(第二東京弁護士会)。死刑再審事件や、刑事施設での処遇に対する国家賠償請求事件などに取り組む一方、主に日本弁護士連合会で刑事司法制度に関する委員会活動に従事。一橋大学大学院で博士(法学)の学位を取得。同大特任講師・非常勤講師等を経て、2024年4月より東京経済大学現代法学部教授。

義井 豊 (よしい ゆたか)



岩波映画製作所契約カメラマンを経て、82年リマに転居。83～89年リマの天野博物館職員、90～96年共同通信リマ通信員としてペルー各地取材。同時にシカン学術調査団員として発掘調査の記録撮影に参加。94年のシカン発掘展をはじめモチエ展、ナスカ展、インカ展、アンデス展などのアンデス古代文明展の日本での開催を支える。中南米の美術工芸品の撮影にも従事。NGO クシ・プンク協会代表。

諸橋 仁智 (もろはし よしとも)



浪人中に覚醒剤に手を出し、成蹊大学入学後も暴力団関係者と関わりを持ち大学中退。21歳で暴力団構成員となり、闇金融業や覚醒剤使用で逮捕される。留置場で大平光代弁護士の著書『だから、あなたも生きぬいて』に感銘を受け、司法試験合格を目指すことを決意。宅建士、司法書士の資格を取得し、関西大学法科大学院を修了。2013年、38歳で司法試験に合格し、15年に弁護士登録。23年4月諸橋法律事務所を開設。

太田 昌国 (おおた まさくに)



編集者／民族問題・人権問題研究家。編集者として人文書の企画・編集に携わる傍ら、民族問題・南北問題等について発信し、死刑廃止運動にも深く関わっている。ボリビアの映画集団ウカマウの全作品上映や一部作品の共同制作も実現した。主な著書に『増補決定版「拉致」異論』(現代書館)、『暴力批判論』(太田出版)、『チェ・ゲバラ プレイバック』(現代企画室)、『【極私的】60年代追憶』(インパクト出版)などがある。

朗読 「パチャママしってる？」(スペイン語バージョン)



朗読:水野 慶子 (みずの けいこ)

役者。1982年～93年、テント芝居『風の旅団』に参加。以後、『独火星』などに出演。金時鐘 詩の朗読ライブ『ここより遠くよりこのここに近く』(2008年)『四月よ、遠い日よ』(2011年)に朗読で出演。2012年『第9回永山子ども基金チャリティーワーク&コンサート』より朗読で出演。



伴奏:宇佐 照代 (うさ てるよ)

釧路市生まれ。アイヌ伝統舞踊や刺繍、ムックリ(口琴)、トンコリ(弦楽器)などに取り組むほか、アイヌパフォーマンスグループ「AYNU RUTOMTE」の代表として活動中。アイヌ料理店「VILCO」を経営。アイヌ語の短編アニメ「七五郎沢の狐」に声で出演。(公)アイヌ文化財団アイヌ文化アドバイザー。



原作:井江 春代 (いえ はるよ)

1923年鳥取県生まれ。女子美術大学卒。児童出版の仕事に就く。絵本『かえるのけろ』で第13回小学館絵画賞受賞。73年南米を訪れて以来、ペルーなどに伝わる神話や民話をもとに独自のストーリーや作品を生み出し、1986～91年『パチャママ』シリーズ全6冊(フレーベル館)。2011年5月死去。

映画

「ペルーの働く子どもたち物語 Vol.16」

制作:NGOクシ・プンク協会

監督・総指揮:義井 豊 (よしい ゆたか)

会場地図「北とびあ」



●地下鉄南北線王子5番出口直結
●京浜東北線王子北口徒歩2分 ●都電荒川線王子駅前徒歩5分